

契約変更理由書

神戸市

工 事 名	有野藤原線（岡場大橋）橋梁拡幅工事その2
<p>設計変更後の工事概要</p> <p>地盤改良工：一式、カルバート工：一式、構造物撤去工：一式、仮設工：一式</p> <p>工期延期後の工期</p> <p>・ 契約年月日                      令和7年5月26日</p> <p>・ 完成期限                      当初：令和8年3月31日</p> <p>   変更：令和8年3月31日    予算繰越の上は    令和8年4月30日</p>	
<p>〈設計変更の理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 支持層が想定よりも高い位置にあったため、地盤改良工の一部が不要となる。そのため、スラリー攪拌工を減工する。</li><li>・ 現地の状況により、スラリー攪拌工の一部を浅層混合処理工法に変更する。これに伴い、浅層混合処理工が増工になる</li><li>・ 特記仕様書第14条に基づく請負者との協議により、スラリー攪拌工にICTを活用した施工を行う。これに伴い、ICT施工に係る経費が増工となる。</li><li>・ 既設雨水幹線撤去後にスラリー攪拌工を行うため、撤去範囲の埋戻しを要する。さらに、カルバート設置のため床掘を要する。これらに伴い、作業土工の増工を要する。</li><li>・ 関係機関協議により、ボックスカルバート工に耐摩耗板の設置を要する。これに伴い、耐摩耗板設置工が増工となる。</li><li>・ その他、現地精査に伴い、数量に増減が生じる。</li></ul> <p>〈工期延期の理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ボックスカルバート工の床掘において、想定よりも支持層が高い位置にあり、軟岩掘削の必要が生じた。これにより掘削に時間を要した。</li><li>・ 関係機関協議により、ボックスカルバート工に耐摩耗板を設置する必要が生じた。これにより設置作業に時間を要した。</li><li>・ これらにより、30日間の工期延長を要する。</li></ul>	